

地球環境と産業化研究会（SGEIS）

第12回「脱炭素と省エネビジネス」勉強会

テーマ：生分解性ポリマー — 素材開発と社会実装、資源循環に向けて

内容：2019年の第4回国連環境総会で、「海洋プラスチックごみ及びマイクロプラスチック」に関する決議などが採択され、日本では同年に海洋プラスチックごみ問題への対処に加え、持続可能な社会を実現し、プラスチックの資源循環を推進するために「プラスチック資源循環戦略」、「海洋生分解性プラスチック開発・導入普及ロードマップ」が策定され、「プラスチック資源循環戦略」では2030年までにバイオマスプラスチックを約200万トン導入するマイルストーンが示されている。今回は、株式会社カネカ様が実用化された「カネカ生分解性バイオポリマー Green Planet[®]」を紹介いただくと共に、その用途展開（市場開発/社会実装）の状況についてお話いただき、この新素材の開発が資源循環に関する課題解決に繋がることが期待して、意見交換を行いたいと思います。会場では、Green Planet[®]の成形加工例の実物をご覧いただけます。

講演：カネカ生分解性バイオポリマー Green Planet[®]

株式会社カネカ Global Open Innovation 企画部 福田竜司 氏

日時：2023年12月20日(水)14時00分～15時30分（13時50分開場）

- (1) 14:00～14:05 主催者挨拶・進行について
- (2) 14:05～14:55 講演
- (3) 14:55～15:25 意見交換（質疑応答を含む）
- (4) 15:25～15:30 事務局連絡・終了
- (5) 15:30～16:00 名刺交換会（自由参加）

場所：中央区文化センター（神戸市中央区東町115番地）11階 会議室1102

定員：30名（先着順）

参加費：1,000円 ※SGEISの活動支援としてご協力ください。

主催：地球環境と産業化研究会（Society for Global Environment & Industrialization Studies）

お申し込み方法（締切：2023年12月13日）

下記のサイトからお申込みください。SGEIS事務局より、受付確認メールが送信されます。

<https://forms.gle/VEhZVP95BdCTCoyP8> （右のQRコードが利用できます）

この申込サイトが利用できない場合は、会員は氏名・会員番号、非会員は氏名（ふりがな）・所属・住所・電話番号を明記のうえ、info.sgeis@gmail.com までお申し込みください。



講演の概要

カネカ生分解性バイオポリマー Green Planet[®]

プラスチックは、軽量で耐久性があり、様々な形状に加工できることから、日常生活において有用な素材として、幅広く利用されている。世界的な生産量の増加に伴い、プラスチック廃棄物も増加し、不適正な処理により環境中に漏出されたプラスチック製品による海洋プラスチックごみ問題が国際的な課題となっている。また、カーボンニュートラル社会の実現に向け、化石由来のプラスチックを代替する素材への関心が高まっている。これらの社会課題解決に貢献する素材としてバイオプラスチックへの期待が高まっている。

バイオプラスチックは、植物由来原料からなるバイオマスプラスチックと微生物により好気条件下で CO₂ と水にまで分解される生分解性プラスチックの総称である。カネカはバイオマス由来で、生分解性を有するカネカ生分解性バイオポリマーGreen Planet の開発に取り組んできた。Green Planet は植物油から微生物が産生するポリマーで、プラスチックと同様に成形加工でき、使用後、コンポストや嫌気環境、土壌、海水等で生分解が可能である。本勉強会では、バイオプラスチックの概要、Green Planet の特徴を紹介し、炭素循環システム構築への取り組みについて紹介する。

講師の紹介

ふくだりゅうじ
福田竜司 氏

1991年 九州大学大学院博士課程修了

1991年4月 鐘淵化学工業株式会社（現 株式会社カネカ）入社

入社後、主に高分子材料の研究開発を担当

2015年よりカネカ生分解性バイオポリマーGreen Planet の加工研究を担当

2017年よりカネカ生分解性バイオポリマーGreen Planet の市場開発を担当

2022年4月より現職

会場アクセス

JR・阪急・阪神・市営地下鉄山手線

三宮駅から徒歩6分

